

上位の政策名	政策目標 8 文化による心豊かな社会の実現	
施策名	施策目標 8 - 3 文化振興のための基盤整備	
主管課及び関係課(課長名)	(主管課)文化庁政策課(課長:高塩至)/著作権課(課長:岡本薫)/芸術文化課(課長:河村潤子)/国語課(課長:山口敏)/美術学芸課(課長:湯山賢一)	
基本目標及び達成目標	達成度合い又は進捗状況	
	基本目標 8 - 3 (基準年度:13年度 達成年度:18年度) 高度化、多様化しつつある国民の文化への関心の高まりに応えるため、新たな文化拠点等の整備を行うほか、文化に関する総合的な情報システムの構築を進める。また、文化活動を支える基盤である国語及び著作権制度の普及・啓発を図る。	概ね順調に進捗
	達成目標 8 - 3 - 1 (基準年度:13年度 達成年度:18年度) 平成 18 年度までに、国立新美術館の整備を行う。	概ね順調に進捗
	達成目標 8 - 3 - 2 (基準年度:13年度 達成年度:17年度) 平成 17 年度までに、九州国立博物館(仮称)を開設する。	概ね順調に進捗
	達成目標 8 - 3 - 3 (基準年度:13年度 達成年度:17年度) 文化庁ホームページを含めた文化情報総合システムの情報内容の充実を図る。	概ね順調に進捗
	達成目標 8 - 3 - 4 (基準年度:13年度 達成年度:17年度) 平成 17 年度までに、国民の国語に関する意識の把握に努めるとともに、国語の普及・啓発を図るため、より広範に、国語に関する協議会等を開催する。	概ね順調に進捗
	達成目標 8 - 3 - 5 (基準年度:13年度 達成年度:17年度) 平成 17 年度までに、著作権の普及・啓発を図るため、より広範に、著作権に関する講習会等を開催する。	概ね順調に進捗
達成目標 8 - 3 - 6 (基準年度:15年度 達成年度:19年度) 著作権教育の充実を図るため、全国の中学 3 年生にマンガ教材を配布する。	-	
現状の分析と今後の課題	各達成目標の達成度合い(達成年度が到来した達成目標については総括)	達成目標 8 - 3 - 1 平成 14 年度の達成目標の達成については、指標を踏まえ分析を行った結果、当初予定していたとおり建築工事に着手し、概ね順調に進捗した。
		達成目標 8 - 3 - 2 指標を踏まえ分析を行った結果、平成 14 年度には、前年度に引き続き「建設工事(3年計画の第二年次)」を実施し、順調な進捗である。 平成 15 年度には「建設工事」を終えるとともに、独立行政法人国立博物館において「展示工事(2年計画)」に着手し、各種博物館機能の準備及び整備を実施する。
		達成目標 8 - 3 - 3 平成 9 年度より文化庁ホームページを含めた文化情報総合システムを運用中。伝統芸能や現代舞台芸術のデジタルアーカイブ化を通じ、文化デジタルライブラリー(歌舞伎の成り立ち等を解説したコンテンツ等)を平成 14 年度よりインターネット等で情報提供開始。概ね順調に進捗している。
		達成目標 8 - 3 - 4 「言葉について考える - 親と子のためのワークショップ -」や国語に関する問題について協議する国語問題研究協議会、国語施策懇談会の開催などに取り組んでおり、各参加者の意識の高揚は図られているところであるが、外来語の増加に対する対応など内容の充実や開催箇所数、参加者層の拡大を進めていくため、平成 14 年度においては、開催箇所数の増に取り組みほか、国語施策懇談会の様子をエルネットにて放送を行い一定の成果をあげており、全体的に順調に進捗している。
		達成目標 8 - 3 - 5 講習会の回数の増加や、教材及びカリキュラムの改善を行うことにより、講習会の充実を図った。
		達成目標 8 - 3 - 6 (平成 15 年度新規)

基本目標達成に向けての進捗状況	平成14年度の基本目標の達成度合いについては、各達成目標が順調に進捗していることから、十分と判断でき、今後とも各目標の達成のため、適切な政策の実施が必要。					
今後の課題	<p>達成目標8-3-1 全国的公募展や大型企画展の開催など、我が国の美術の振興と国民の美術鑑賞機会の充実を図る新しい国立の美術展示施設の平成18年度の開館を目指して、独立行政法人国立美術館で準備及び整備を進める。</p> <p>達成目標8-3-2 日本文化の形成をアジア史的観点から捉えるという新しい視点をもった博物館の開設を目指し、平成15年度には国が実施している「建設工事」を終えるとともに、平成17年度の開館を目指しての独立行政法人国立博物館での準備及び整備を進める。</p> <p>達成目標8-3-3 文化庁ホームページへのアクセス数は年々増加しており、国民の文化に対する関心が高まってきていることがうかがえる。今後もコンテンツの充実を図り、文化に関する情報を国内外に総合的に提供する。</p> <p>達成目標8-3-4 平成15年度においては、「言葉について考える-親と子のためのワークショップ-」を拡充し、「言葉について考える体験事業」として、親子だけではなく、より広い範囲の参加者を求め、今後さらに、広報や内容の充実などにより、国語の普及・啓発に努める。</p> <p>達成目標8-3-5 受講者のニーズに応じた講習会の実施に向け、講習会の在り方の検討を行う。</p> <p>達成目標8-3-6 著作権教育研究指定校において活用の研究を行う。</p>					
評価結果の15年度以降の政策への反映方針 (政策評価法第11条に基づく総務大臣への通知事項)	国立新美術館、九州国立博物館(仮称)の整備については、予定通りの開館を達成できるよう、引き続き準備及び整備を進める。また、文化情報総合システムの内容の充実及び効果的な運用により、文化に関する情報の積極的な発信に努める。さらに、研修事業・講習会及び教材の充実により、国語及び著作権の普及啓発に努める。					
指標	指標名	10	11	12	13	14
	建設工事の進捗状況 国立新美術館	基本計画	基本設計 検討	基本設計	実施設計	建設工事
	建設工事の進捗状況 九州国立博物館(仮称)	基本計画	建築基本 設計、 常設展示 計画	建築実施 設計、 展示基本 設計	建設工事	建設工事、 展示実施 設計
	情報提供システムへのアクセス数 (文化庁ホームページアクセス数(月平均))	-	4,050	7,110	339,152	197,897
	国語の普及を図るための協議会等の開催箇所数	3	3	2	2	16
	著作権の普及・啓発を図るための講習会等の開催箇所数	11	11	11	11	13
	「中学生向けマンガ」の配布数	1,468,400	1,450,500	1,431,700	1,410,000	1,364,900
備考	文化庁ホームページアクセス数(月平均)について、平成10年度のデータなし。また、年度によるシステム変更に伴いアクセス方法を変更しており、単純に比較できない。					

# 施策目標 8 - 3 文化振興のための基盤整備

高度化、多様化しつつある国民の文化への関心の高まりに答えるため、新たな文化拠点等の整備を行うほか、文化に関する総合的な情報システムの構築を進める。また、文化活動を支える基盤である国語及び著作権制度の普及・啓発を図る。

